

道路事業の再評価概要書

番号

119

() は、前回再評価時

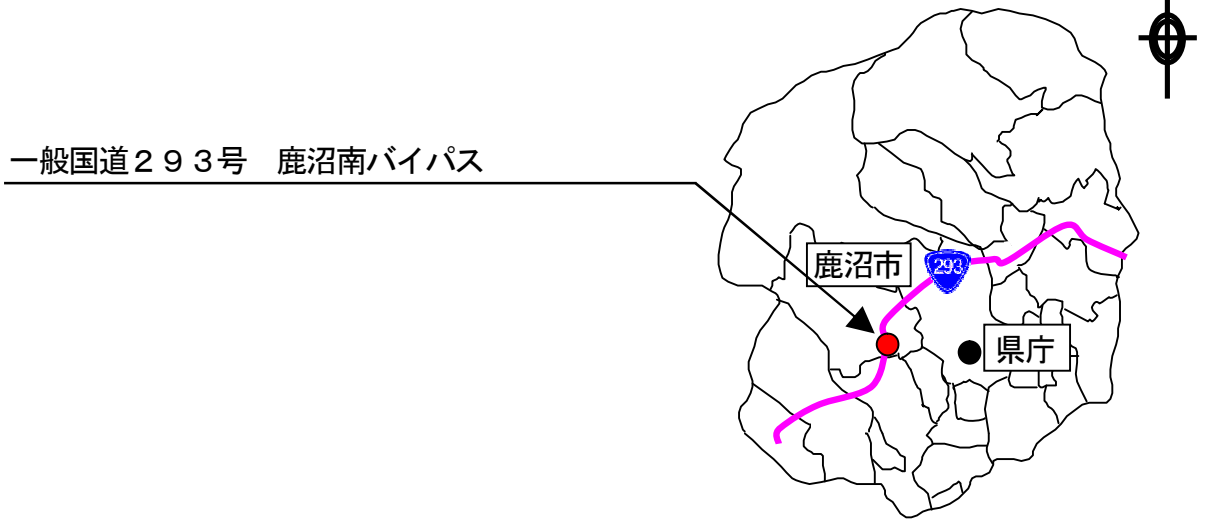
事業主体

栃木県

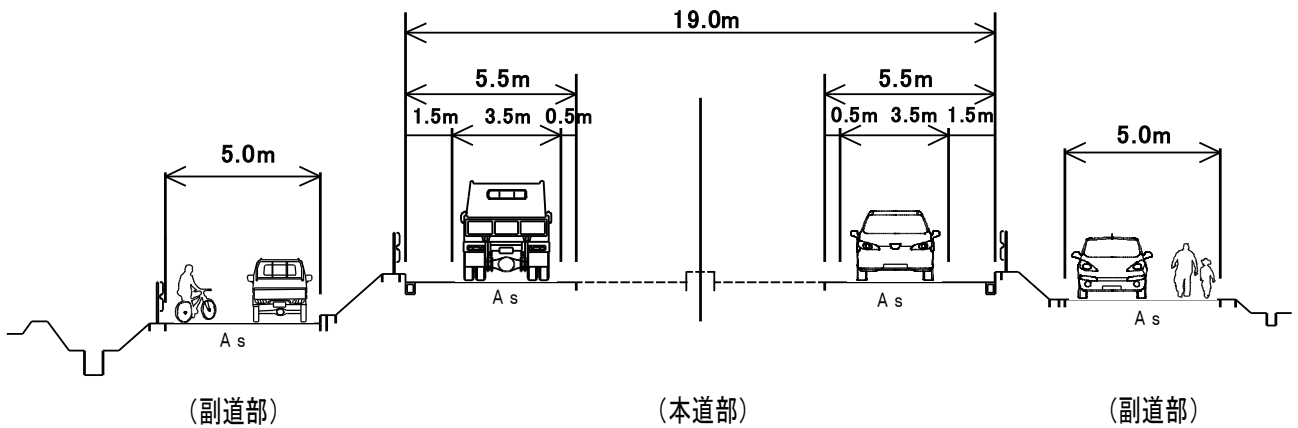
事業名	快適な道づくり事業		事業所管課	県土整備部 道路整備課	
路線・河川名	一般国道 293号		事業箇所名	鹿沼市、栃木市 鹿沼南バイパス	
事業区間	鹿沼市楡木～栃木市西方町金崎		事業延長	4,860m	
H9年度事業化		H12年度用地着手		H9年度工事着手	
事業期間	(H23) H9年度～H26年度		事業進捗状況	基準年次：【平成23年度末時点】	
[うち用地補償費]	[19.3億円]			進捗率	
全体事業費	72.0億円		[うち用地補償費]	[19.3億円]	[100%]
			既投資事業費	44.1億円	61%
事業概要					
<p>一般国道293号は、茨城県日立市を起点とし、足利市に至る延長約169kmの幹線道路である。県西部においては、主要都市間を南北に連絡する「歴史ふれあいサブコリドール」の一部を形成しており、沿線住民の生活道路としてはもちろんのこと、広域的な交通を担う道路として重要な路線となっている。特に、鹿沼市及び栃木市地域においては、沿線に宇都宮西中核工業団地や観光交流施設「道の駅にしかた」が立地し、平成23年3月には北関東自動車道が全線開通したことから、都賀インターチェンジへのアクセスルートとしてもさらなる機能強化が求められている。</p> <p>このような背景をもとにした本事業は、交通安全の確保、観光交流の促進、産業活動の支援を目的としたバイパス整備事業である。全延長4,860mのうち、これまでに1期工区1,960mの整備が完了している。しかしながら、2期工区の現道においては平日24時間あたりの自動車類交通量が1万台を超えるのにもかかわらず、カーブが非常に急な箇所があり、狭隘な区間や屈曲部も多いことから、依然として安全で円滑な交通に支障をきたしている状況である。</p> <p>このため、2期工区2,900mのバイパス整備を行うことにより、交通の円滑化を図り、広域道路としてふさわしい快適な道路環境を実現するものである。</p>					
事業を巡る社会経済情勢等の変化					
特になし					
事業の投資効果					
1 費用対効果分析結果		【総便益 (B)】		【総費用 (C)】	
(1) 事業全体 B/C= 1.1		91.3億円		82.5億円	
(2) 残事業 B/C= 1.1		31.0億円		27.3億円	
2 事業の整備効果等					
<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故の減少。 ・広域的な観光交流の活性化。 ・地域産業拠点と北関東自動車道都賀ICとの連絡が強化され、産業活動が促進。 					
事業の進捗状況等					
1 事業の進捗状況					
<ul style="list-style-type: none"> ・1期工区(1,960m)は、平成12年度に供用した。 ・2期工区(2,900m)については用地取得が完了しており、工事を推進している。 					
2 今後の事業進捗の見込み					
2期工区における残工事を推進し、平成26年度に暫定2車線での供用を図る。					
コスト縮減等					
1 コスト縮減方策					
<ul style="list-style-type: none"> ・再生骨材、再生アスファルト合材を積極活用しコストを縮減。 					
2 代替案立案等の可能性					
<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の協力を得て用地の取得が全て完了していることから、代替案立案は困難である。 					
事業の対応方針(案)		現計画で事業を継続する。			

事業箇所（位置図・概要図）

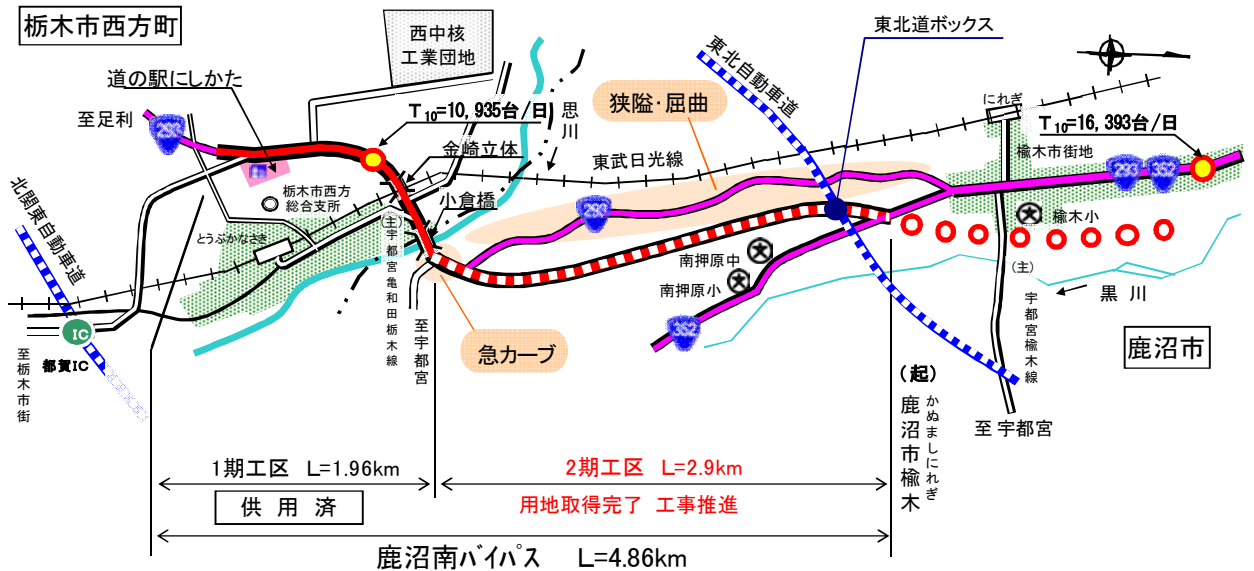
位置図



標準横断図（2期工区）



概要図





2期工区の現状（急カーブ危険箇所）



2期工区の現状（狭隘な区間）



1期工区の供用状況（小倉橋）